

知的障害特別支援学校における DC教育の実践

～教員と生徒が共に善き使い手をめざす学び～

大阪府立西浦支援学校 樋井 一宏
帝京大学文学部心理学科 水内 豊和



大阪府立西浦支援学校について

知的障害のある子どもたちの通う学校
生活環境や学習経験にもばらつき

学年ごとに課題別の学習グループを編成
それぞれの課題に合わせた授業を展開



学校のICT環境

GIGAスクール端末 iPad

持ち帰りはなく 学校保管 学部別の保管庫で一括管理

授業のたびに持ち出し→返却 各教室にWi-Fi

アプリは決められた物のみインストール可能

番号で管理→年度末にリセット

*今年度から持ち上がりが決定



各教室にWi-Fiルーター



中学部 保管庫

取り組みの出発点

「禁止」のルールや「怖い事例」ベースの授業



大人の知らないところでSNS等のトラブル

その都度「指導」するが改善せず

問題は深刻化する一方



アプローチを変える必要性

DC教育

実践のねらい

大人が使うように使える

禁止ではなく「どう使うか」「オープンに使う」

心身の機能を拡張する

学習にアクセスできる 表現のツールにする

生活に結びつける

必要なときに必要なだけ 自分で決めて使うことができる

わからないことはすぐ質問

めざしたところ



比喩の理解 ・ 抽象的な事柄の理解 ・ 語彙 ・ 自信の無さ

具体的な場面 ・ 具体的な行動 ・ 言い換え ・ 支援し共に成功体験を



生徒たちの実態

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名 (教員2名)

課題別学習グループ 4展開中 最軽度

自立活動・道徳 (50分×2コマ/週)

日常会話 口頭指示が可能

一方で・・・

学習意欲が高く 規範意識も高い 学習経験にばらつき

自信がない 手指の巧緻性に課題のある生徒も

授業①

授業でどう使いたいかを考えよう

STEAMライブラリー

「じぶんのパソコンを学びにつかうってどういうこと？」

動画視聴

<https://www.steam-library.go.jp/lectures/866>

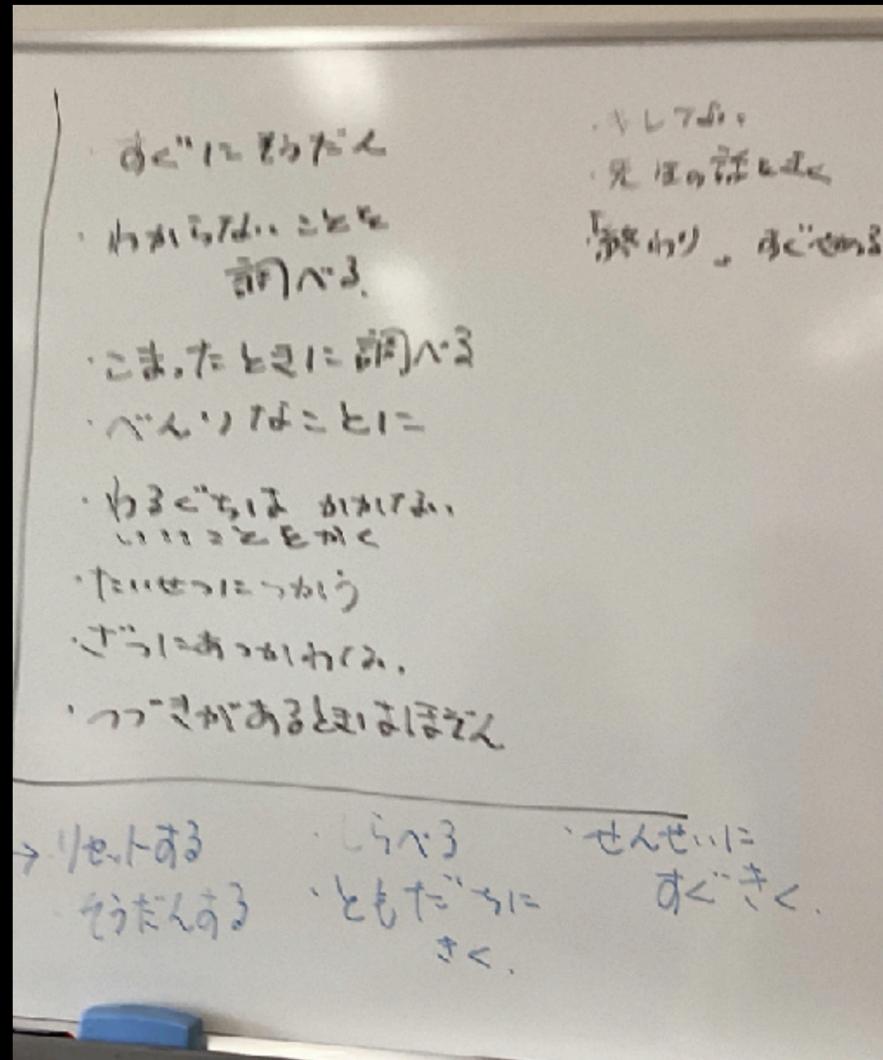
自分の考えを記入→意見共有→追記

授業の工夫

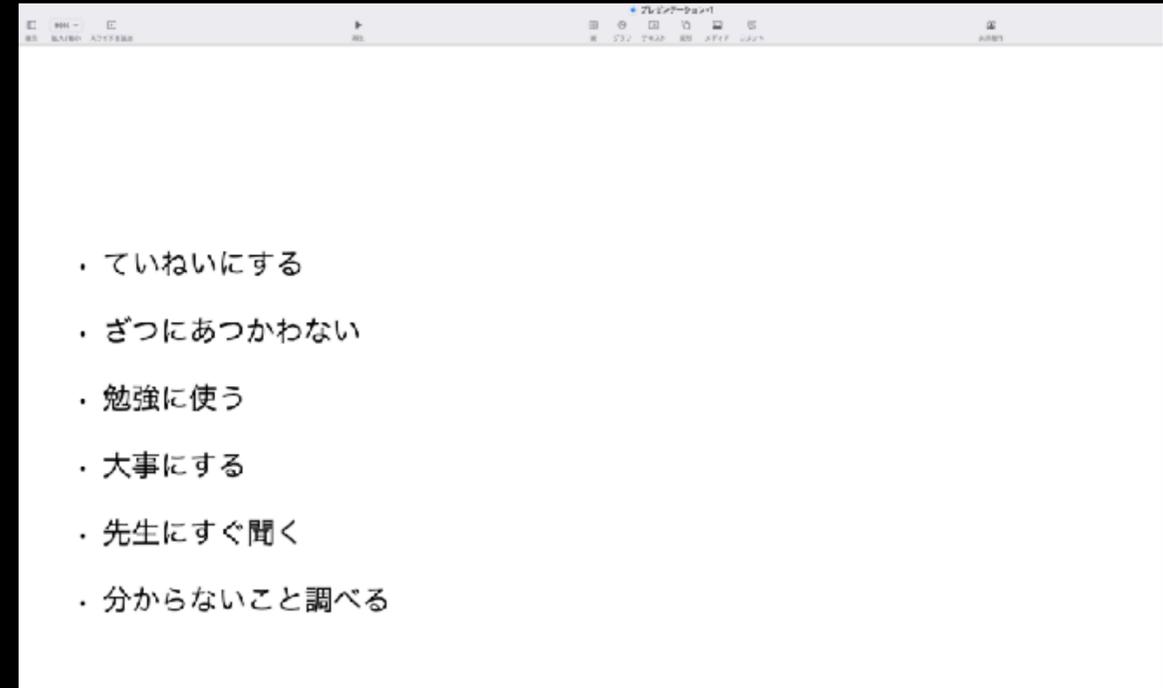
言葉の意味理解、状況を想像することの苦手さ

「授業（勉強）」の場面に限定する
「質問（相談）」できることをめざす
一人ひとり違う「約束」を認める

生徒たちの反応 IVグループ



意見を出し合い 交流



自分の考えをスライドにまとめる

それぞれの考えをまとめて
意見を出し合い、追加する

もう1つの学習グループ

知的障害特別支援学校 中学部 2年生 10名 (教員2名)

課題別学習グループⅢ 4展開中2番目に軽度

国語・社会・外国語 (50分×2コマ/週)

簡単な日常会話 簡単な口頭指示が可能

学習意欲が高く 規範意識にばらつき (強すぎる・難しい)

学習経験にばらつき

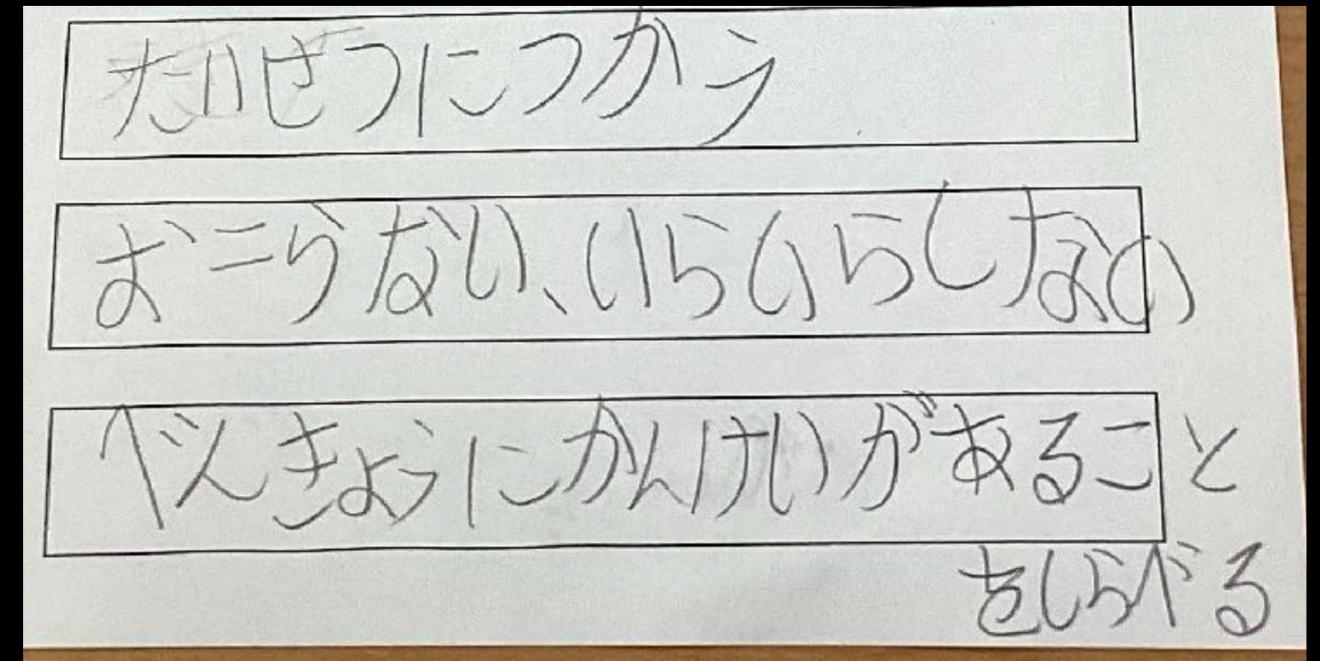
自信がない 集中力を維持しづらい生徒も

元気な生徒が多い

生徒たちの反応 III グループ

それぞれの考えをまとめて
意見を出し合い、追加する
ワークシート→写真

同じ学年の生徒であっても
実態や課題に応じて
カスタマイズ



授業を実施するタイミング・方法も学習集団によって変える

授業の様子②

自分の好きな壁紙を設定しよう

「壁紙かえて いいですか？」

自分だけのiPadにしよう

自分のものとすることで、
愛着を持ち大切に扱えるように

生徒たちからの疑問

インターネット上の画像を使いたい
著作権は？

クリエイティブコモンズライセンスとかあったような・・・

自分の絵や写真に著作権は？



NHK for School 動画視聴

アツと！メディア～@media～

「どうして許可をとるの？～著作権～」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005180464_00000

授業の工夫

言葉の意味理解の難しさ

→ 「宝物」への言い換え

→ 著作権を知る 目標を段階的に設定する

「怖い」だけが残りやすい

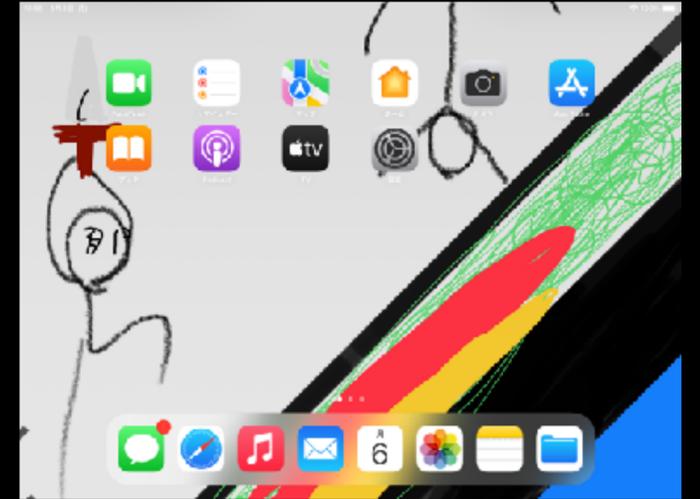
→ 著作権違反の「恐怖」ではなく

「どう使うか」「(知った上で)使わないか」

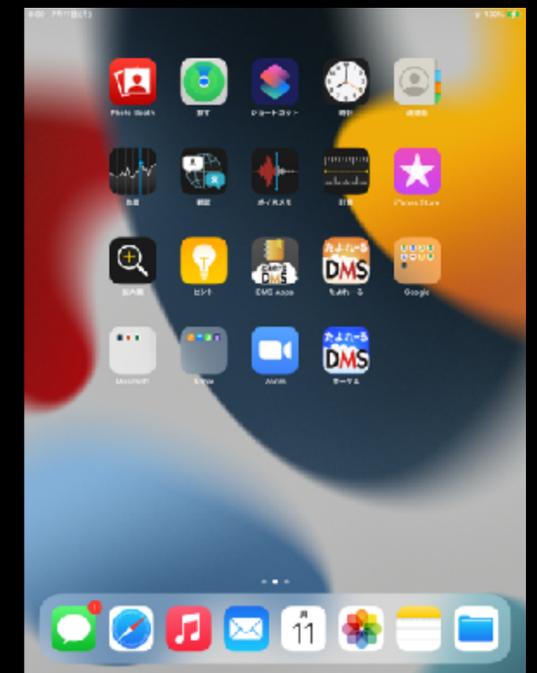
わからない時に「聞くことができる力」

生徒たちの反応

- 最初から入っている画像を使う
- 自分の撮った写真（好きな先生とのツーショット）
→相手の先生にお願いしてから使う
- クリエイティブコモンズライセンス検索して
- 自分の絵をスクリーンショット



自分の描いた絵を壁紙にした生徒



デフォルトの壁紙から
選んだ生徒

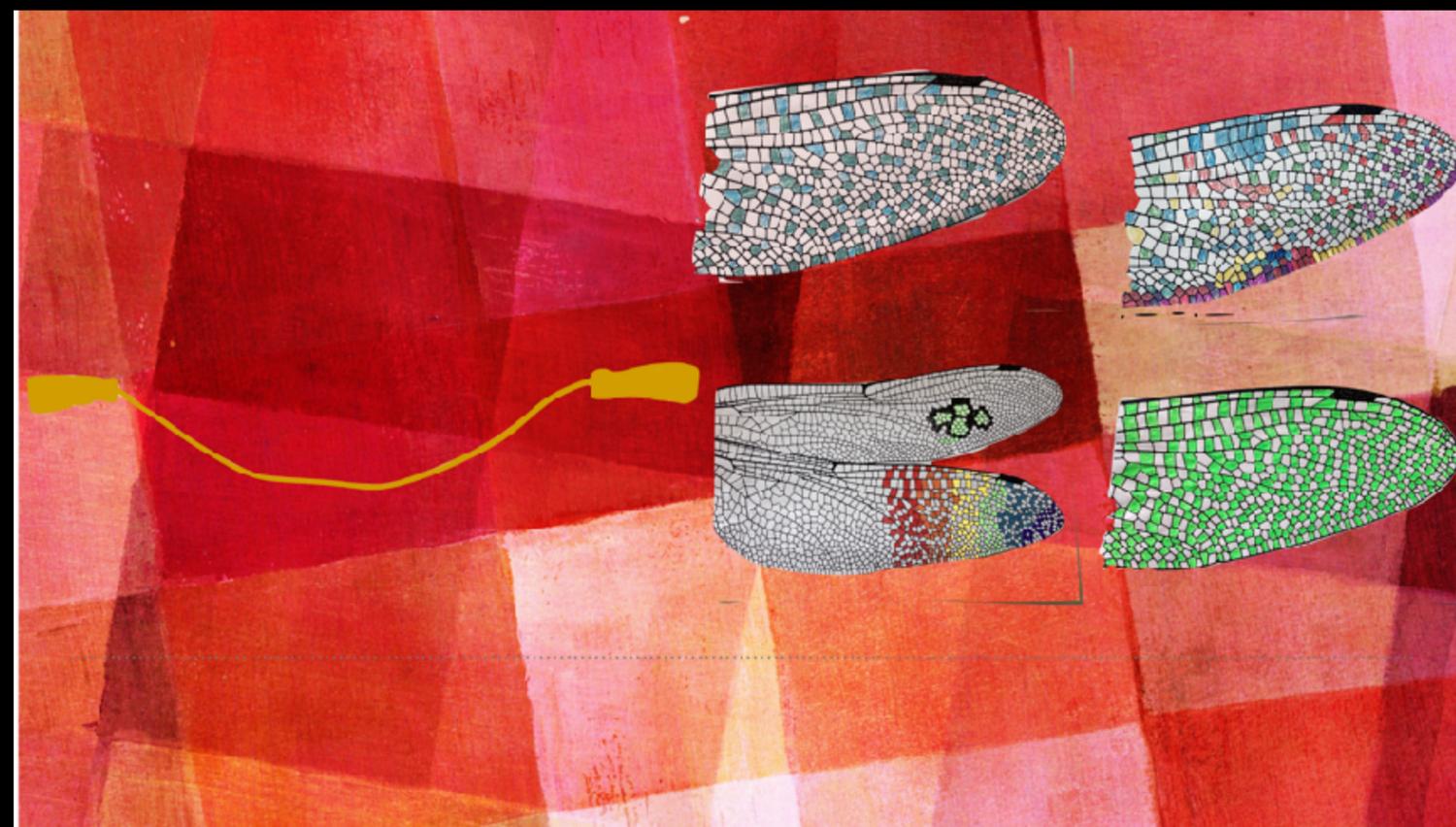
その後の生徒たち①

劇行事の背景作りで

→クリエイティブコモンズライセンス検索

→良いのが見つからない・・・

→自分で描けば良いや



生徒たちを取り巻く環境

iPadの保管は保管庫・・・

→それでも持ち出し・返却は生徒自身で

質問された時に「すぐ」答える

→質問する・一緒に解決する・質問して良かった体験を

課題から逸れてしまった生徒に

→「アカンやる」ではなく

「どうするんやっけ？」 「滋賀限定のスニーカー調べてみたら？」

大切にしたいこと①

どうすれば「自分ごと」にできるのか？

自分で選ぶ

自分で決める

自分で行動する

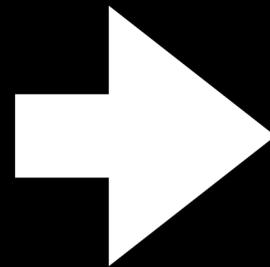
自分の選択が尊重されること

変化を認めること

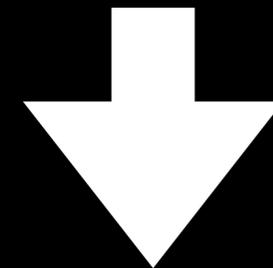
周囲から学ぶこと

大切にしたいこと②

わからない
困った
なんかおかしい
気づく



質問
相談



具体的な行動を
相談できる環境
相談する成功体験

共に 考える

(デジタル) シティズンシップの 所在

まずは
大人がその意識で関わる
こと

社会の一員として
社会にアクセス



実態に応じて
なにをどこまで
伝えるか

自立活動

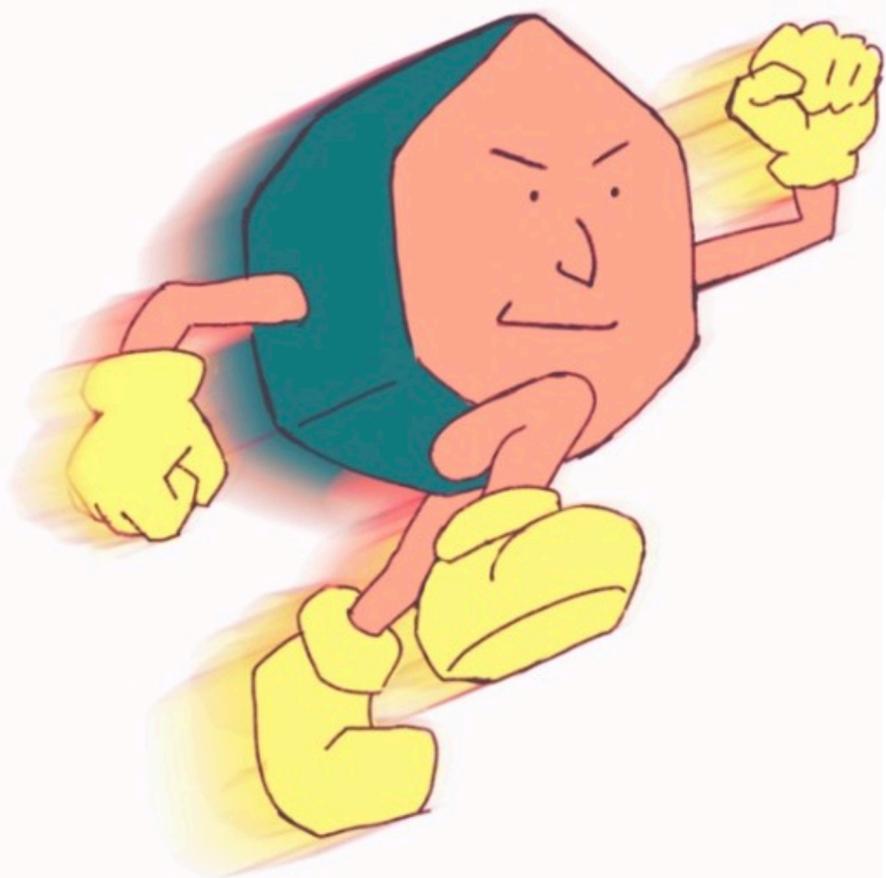
教科の力

具体的な行動と成功体験

子ども

教員
保護者など

(デジタル) シティズンシップ



ダッシュユニン！！

発表者モチーフのゆるキャラ「ダッシュユニン」

ありがとうございました！！



発表者HP
QRコード



発表者
YouTubeチャンネル